

まだ遅くない

葉月 一郎

え・小西保文(題字も)

残酷な野獣

公害キャンペーンを、なぜ中止したの——それが亜紀子の唇からもれた最初のことばだった。

だが、そのことは、戸波の横を素通りして、夜の闇に消えてゆく。

戸波にとって、どんな科白も、いまは意味がない。そこに亜紀子がいる。そのことだけが彼の意識を独り占めしていた。

「亜紀子さん」

自ら確かめるように呼びかける。

信じられないものが、ここに存在している。それを素手でつかみ、肌でたしかめたい。

次のことは何一つ出てこない。それが、もどかしい。

亜紀子の腕を、腕でかかえこんだ。

そのまま、自分の部屋に向かう。

かすかに抵抗の姿勢を示したあと、亜紀子は戸波に従



〈あらすじ〉神戸に君臨する大企業、兵庫製鉄(兵鉄)の公害をなくそうと、毎朝新聞神戸支局の石津支局長がキャンペーンを企画、取材をすすめていた。昭和四十五年秋のことだ。

仕事への情熱を失い、バーの女ユカとの情事におぼれていた戸波峻記者も、十年のキャリアを買われて参加する。たまたま静客にからまれているところを助けてやった兵鉄秘書課の細川亜紀子と親しくなり、亜紀子は会社首脳の新聞社対策などをそのつど戸波に知らせて協力する。ある夜、二人は六甲山のホテルへ泊るが、体は結ばれないまま一夜をとるにする。亜紀子の兄も記者だったが誤報事件のワナにかけられて自殺したと告白する。

兵鉄の花房総務部長らは二人の関係をかぎつけ、亜紀子を工場勤務へと配置がえする。新聞社にも記事とりやめの申し入れをしたらしく、支局長や栗田次長らは本社へ喚問され、キャンペーンは掲載直前に中止と決まる。

傷心の戸波は、その夜、亜紀子がひそかにアパート暮らしをしていることを知り、疑惑を深める。真相のつかぬまま酒に溺れた戸波の帰宅を待っていたのは亜紀子だった。彼女は「なぜキャンペーンを中止したの」と激しく問いつめる。

つた。

乱雑に積み上げた古新聞。男のひとり住まいにしては、体臭のない部屋である。むしろ、カビくさい、ほこりの

においが漂っている。

奥の六畳のまん中へ、まるで引き据えるように亜紀子をすわらせた。

あけっぱなしの襖の影から、隣室の万年床がみえる。

それに、止まったままの置時計、よごれて積み重ねてある洗濯もの、長い間使ったことのない流し台……。

かすかに眉をひそめると、亜紀子は部屋の主の「生活」を読みとった表情になった。

そんな風情に気づかぬまま、戸波は亜紀子の真正面にすわった。

じっと、視線を合わせる。

何から話していいのか。いいたいこと、聞いてみたいことは山ほどあるのに、ことばが出てこない。

思えば、しばらく会っていない。あの六甲山頂の霧の夜以来である。

感付いたらしい会社側の対応策で、亜紀子は工場勤務に配置がえになったという。そのことも電話で聞いただけだ。そして今夜、はじめて知ったアパート暮らしの事実――。

脳裏を、いくつかの問いがかけめぐった。問いが、それより先に亜紀子の声が届いた。

「ね、どうして、公害記事、やめになったんですか」

「……」

虚を衝かれて、戸波はうろたえる。

（何と答えたらいいのか）

しかし、もう一つの

声が肚の底からわき起

こってくる。

（終ったんだ。そんなことは、もう遠い過去の話。いまさら、誰に説明してみたって、どうしようもないことじゃないか）

その声に支えられて、戸波はかろうじて立ち直る。酔いの残る体に、懸命に鞭をあてながら、相手を見据える。

キチンと正座して、瞳だけをキラキラと輝かせた亜紀子の姿が、そこにあった。戸波の心の奥をつかみとろうとする鋭い視線――。

圧倒されそうになりながら、戸波はまるで悲鳴のようなことばを口にしていた。

「君は、おれを、だましたね」

それは、この数時間、彼の胸を占領していた疑問であった。その疑問を肴にしながら、酒を浴び、酒に溺れていたのだ。

しかし、実は、いま最も口にしてはならない質問だったかもしれない。

果たして亜紀子は、硬い表情になった。こんなときになにをいうのか、と詰る顔付きである。

が、戸波はそれに気付かない。心にとめる余裕もない。

「なぜ、ひとりで、アパートにいたことを、おれに隠した。そんなことぐらい、どうして、話してくれなかったんや」

にじり寄る。見上げるように、のぞきこもうとする。

ふっと亜紀子の頬が曇



った。もの悲しそうな影が走った。

どうして、私の問いに答えてくれないの。

どうして、そんなことを尋ねるの。

どうして、二人の間に、こんな食い違いができてしまったの。

どうして、どうして……。

かみあわない心にいられながら、亜紀子は沈黙という名の砦にこもっている。

露地の坂道のあたりで、夜鳴きそばの、チャルメラの音がした。

その哀感を呼ぶ音に誘われたように、亜紀子が立ち上がる。窓辺へと、歩を運ぶ。

肩透かし、と戸波は受け取った。ようやく女をつかみかけたのに、気がついたら脱け殻のような衣装しか残っていない……。

「亜紀子さん」

声が大きくなった。

「もうこれ以上、ウソをつくのは、やめてくれ。せめて僕にだけは、本当のこと、しゃべってくれよ」

うしろ姿が、返事を拒否していた。肩から背中へと流れる長い髪が動きを失い、凍えてみえる。

酔いが、ふたたび体の中を走りはじめた。いらい、そして怒りに似た感情が、それに拍車をかけているのに戸波自身は気づかない。

「君、まさか、兄さんが新聞記者だったこと、誤報事件に巻きこまれて自殺したことまで、ウソやないやろな」



そのことばを吐き終らないうちに、亜紀子が激しく振り向いた。まるで血がふき出てくるのではなからうか、と思わせるような灼けた視線が戸波をとらえた。

「いま、なんておっしゃったの」

「君を……君を信じられなくなった」

ことばを返すかわりに亜紀子はよろめきながら窓よりかかった。

チャルメラの音が近寄りながら尾を引いている。

亜紀子の口が動いた。だが、その独白に似たつぶやきの中身は、耳に届かない。

「え？ なに？」

問いかえす。近寄ろうとする。

それをピシャッと拒否するように、亜紀子が叫んでいた。

「私も、あなたを信じられないって、いったの」

「……なぜ……」

「あんなにまで力を入れて、意気こんでいた仕事を、あつさりやめてしまったからです」

「まだ、君は、そんなことを……」

「そんなこと？ あなた方にとって、公害キャンペーンは、その程度のことだったのね。煙をかぶって暮らしている人たちの身になって、徹底的に公害のひどさを訴える、といってたのは、どこのどなたなの」

そんなこと、わかってるよ。だけど、どうしようもな

いんや——胸の底で、投げやりにつぶやく声をする。メタンガスのあぶくのように、それは異臭を放ちながら湧き続けている。

だが、心とは別のことが出た。

「話をスリ替えないでほしいな。おれが聞いているのは、君自身のことやで」

「卑怯よ、戸波さん。スリ替えて、ごまかそうとしてるのは、あなたじゃないの」

「ごまかす？ 冗談じゃない。君こそ、自分をあいまいにしたままで、ひとのことを……」

悲しい食い違い。せっかくの再会というのに、話は一向にかみあわない。いや、話せば話すほど、二人の距離は遠ざかってゆく。

心の中に、あせりが芽生えた。

(こんなはずじゃなかったのに……)

いまなら引返せる。

キャンベーン中止のいきさつは、ありのままに説明すればいい。亜紀子の生活のことを聞き出すのは後日でもよからう。ようやく一つ屋根の下で向かいあえたのだから、ささくれ立つたお互いの心を暖めあうのが、いま一番必要なのではないか。

だが、歯車はすでに逆方向へと回りはじめていた。とめようとしても止まらない坂道を——。

亜紀子が、急に放心したような表情になった。窓辺の壁に寄りかかったまま、崩折れるように畳にすわりこむ。

「もういいわ。もう聞かない」

「……」

「期待した方が間違いないのよ、ね。あれだけ大きな会社の公害を、住民や一つの新聞の力でなくするなんて、もともあり得ないことだったのよ」

そうだ、その通りなんだ——。戸波は、からっぽの頭で、うめいていた。ザラザラのけだるい無力感だけが、全身を覆ってくる……。

「私たちも、おしまいね」

ポツンと、石ころでも放り出すように亜紀子がいった。「新聞が、どれほど頼りにならないか、よくわかったわ。……それに、あなたも、これで私の利用価値がなくなっただんでしょ。もう、必要ないわよ、ね」

畳に片手をついて、うつむき加減に、ひとりごとのような声だった。長い髪が、肩から前へ垂れて、生きもののように動いている——。

利用価値。思えば、それが結びつきの導火線だったような気がする。

近づいておけば、仕事に何かプラスすることがあるだろう。そんな計算が働いたのは事実である。

だが、いまの、少なくとも、きょう夕方までの心のたかまりは、決して利用することだけの関係ではないことを証明している。だから「もう必要ないでしょう」といつてのけた亜紀子のことは、ひどく戸波を刺した。

「違う。そんなこと、ないよ」
噴き出すように、叫ぶ。

「少なくともおれは、そうじゃない」

しかし、亜紀子は、ゆっくりと立ち上がっていた。戸波の叫びが耳に届かなかったのか、表情も変えずに、のろのろとハンドバッグを拾った。

「さ、よ、な、ら」

古新聞の山と、乱雑に散らかった灰皿や本の間を縫うようにして、亜紀子がゆっくりとドアに向かう。ひどく頼りなげな足どり。チャルメラの笛が、それに合わせるように心細いメロディを奏でる……。

戸波の体内の血が、一気に逆流した。

(待ってくれ、！)

叫んだつもりなのに、声にならない。

ふらつく足が、灰皿を蹴り、本につまづきながら亜紀子を追う。

失ってはならない。いま亜紀子を帰らせてしまえば、もう永遠に戻ってくれないような気がする。

暗い、長いトンネルに迷いこんだいま、それは残った

一本のろうそくが消えてしまうことと同じではないか。その想いが、男を逆上させた。

追いつがる。腕をつかむ。引きもどす。

亜紀子が、それを振り払った。予想を遙かに超えた激しさである。

はずみで、ドアの脇に積み上げた古新聞の束につまづきよろけた。ぶざまに転んだ。

そのすきに飛び出そうとする亜紀子の足を、転んだまま必死につかむ。

折り重なるように、亜紀子の上体が落ちてきた。

「放して、エゴイスト」

「行くな。行かなくてくれ」

「きらい。新聞記者なんて、みんな、きらいよ」

「な、なにを」

もみあい、喚きあう。

ブラウスの裂ける音がした。

激しく抵抗する亜紀子の動きが、逆に男を刺激したの

心に暖めつづけてきた亜紀子とのめぐりあいの、思わざる結末——。その悲しさ、口惜しさ、暗さが一気にのしかかってくる。

自暴自棄に似た感情の渦の中で、戸波の男は野獣と化していた。

（新聞記者なんか、きらい）短かい叫びが、胸の底に突き刺さったまま心をえぐる。

記者がなんだというのだ、おれは、ただの男に過ぎぬ。亜紀子だって、いまはもう、ただの女ではないか。兵

庫製鉄に勤めていようといまいと、おれにとっては全く関係のない話さ。

理性も職業意識も消えていた。そこにいるのは、一匹の裸のけだものであった。

腕に力がこもる。組み伏せる。

バネ仕掛の人形のように亜紀子があがない、男をはねのけた。が、男は屈せずに飛びかかる。

女の足が、今度は宙を蹴った。むき出しになったふくらはぎの白さが、男の欲情を一層あおったようである。女の両手首をつかむ。

そのまま、部屋の中央へ引きずってゆく。

食卓の足が折れた。灰皿が転がった。

無言のまま、荒らい息づかいだけが室内に交錯する。

亜紀子の瞳に、悲しみのいろが宿る。

戸波の瞳には、煩しかな。燃えて、ただれて、憎しみのいろさえまじった煩である。

それでもなお、亜紀子はさからった。腕をつっぱり、

その頬に、戸波の平手打ちが飛ぶ。二度、三度、四

度……。顔をそむけ、体をよじった。

むしり取るように、ブラウスをはがす。

なんということだろう。

亜紀子の脳裏に、あの六甲山頂のホテルで過ごした一夜がよみがえる。

二人の心が急速に歩み寄り、体もほとんど結ばれんばかりに重なったあの夜。お互いに相手をたて、かばい、いとおしんだ甘酸っぱい夜は、つい先日のことだというのに……。

亜紀子の白い頬に、つっ—と涙が走った。あとから、あとからと続いた。

埃っぽい畳に、長い髪が舞いおちる。むき出しの白い肩が、その上に崩折れて……。

抵抗をやめた女を、戸波の体が覆った。それは、猛々しい息づかいで餌食に襲いかかる野獣にも似ていた。もはや意志のない肉片なのに、けだものはそれをむさぼりつづけている……。

無惨な幕切れだった。残酷なエピソードのひとつともいえた。

蛍光灯のあかりにさらされて、亜紀子の頬が苦痛に歪んでいる。涙のあとにまた涙が走った。

チャルメラの音が、すぐ足元から聞こえた。悲鳴のよう、長く尾をひいて流れた。（つづく）

神戸のうまいもん&ドリンクینگ

★日本料理

讃岐名代うどん **あこや亭**
神戸市東灘区旗塚通7-5 TEL 231-6300
トアロード店 TEL 391-2538
兵庫駅前店 TEL 575-5306

和食 **くれなゐ**
三宮生田新道浜側中央
KCBビル2F TEL 331-0494

かつばう **花くま**
神戸市生田区花岡町45
TEL 341-0240

鍋もの・おむすび **悟味西**
お茶漬・おぼろ **神戸市生田区北長狭通1の20** TEL 331-3848
三宮さんちがタウン TEL 391-5319

お茶漬・おむすび **ふる里**
鍋もの **神戸市生田区北長狭通2の1**
TEL 331-5535

たこ焼 **たちばな**
三宮センター街(旧柳筋) TEL 331-0572

北海道郷土料理 **蝦夷**
神戸市生田区中山手通1丁目115
生田区東門筋東門会館ビル1階
TEL 331-7770

カニ料理 **婆娑羅(ばさら)**
神戸市生田区北長狭通1丁目18
三宮阪急西口北側レインボープラザ1・2F
TEL 321-6363

天プラハウス **瀬戸**
美術喫茶 **神戸市生田区山本通3丁目27の9**
瀬戸ビル1F TEL 221-6548

★西洋料理

レストラン **アポロン**
ティー・バーラー **神戸市東灘区八幡通5丁目6**
TEL 251-3231

レストラン **皮〈あらかわ〉**
神戸市生田区中山手2-9
TEL 221-8547・231-3315

GALLERY & STEAK HOUSE **SAN-MON 三門**
神戸市生田区中山手通2丁目98ノ99
TEL 331-5817

ステーキハウス **れんが亭**
神戸市生田区下山手通2丁目34
TEL 331-7168

レストラン **セントジョージ**
神戸市生田区北野町1丁目130
TEL 242-1234

レストラン **男爵**
神戸市生田区中山手1-18
山手第一ビル1F TEL 241-0778

maison de la mode **花屋敷**
三宮フラワーロード市役所前
TEL 251-2109

鉄板グリル **きゃんどる**
神戸市生田区北長狭通2-22
TEL 331-1183

レストラン **キングスアームス**
神戸市東灘区磯辺通4-61
TEL 221-3774

居酒屋 風 **井戸のある家**
れすたらん **生田新道新世紀南**
TEL 331-5664

レストラン **ムーンライト**
三宮・生田新道
TEL 331-9554

串かつ店 **和蘭陀屋**
三宮相互タクシー北入
TEL 321-0230

グリル・鉄板焼 **月**
神戸市生田区北長狭通1-24
生田神社前 TEL 331-2509

BARBECUE & STEAK **六段**
生田区元町通3丁目
TEL 331-2108

レストラン **スイスシャレー**
神戸市生田区北野町3丁目48アニルドマンション1F
TEL 221-4343

レストラン **ハイウェイ**
神戸市生田区下山手2-20
TEL 331-7622

ピッツアハウス **ピノッキオ**
神戸市生田区中山手2-101
TEL 331-3545

レストラン **フック東店**
神戸市生田区栄町1-5-3
TEL 321-3207

ビザ&スナック **ガルの店**
三宮区琴緒町5丁目1-7
西山ビル1F TEL 241-9025

ステーキハウス **グレル青山**
神戸市生田区中山手通2丁目112-2
(トアロード) TEL 391-4858

ピザ・パブ **ピザ・パテオ**
神戸市生田区元町通1丁目49(元町1番街)
TEL 331-9378

フオーグ **ローストシティ**
ウエスタン **神戸市生田区三宮町3丁目22**
TEL 331-3770

RESTAURANT & BAR **ゴックスタッド**
生田区山本通3丁目18 回教寺院前
TEL 242-0131

メキシコ小料理 **ティファナ**
神戸市生田区中山手通1丁目4ノ12 パールコーポラスビル1F
TEL 242-0043

ドイツ風 **コーベ・ローレライ**
音楽レストラン **生田区北長狭通6丁目39**
TEL 371-0086

★喫茶 **宮水**
にしむら珈琲店 **中山手店・神戸市生田区中山手1丁目70**
TEL 221-1872・231-9524
センター街店・神戸市生田区三宮町2丁目35
TEL 391-0669
北野店・山本通2丁目9 TEL 242-2467
(会員制) 3F事務所 TEL 242-1880

喫茶・レストラン **パロン**
神戸三宮サンプラザ地下 トアロード店
TEL 391-1758
TEL 391-1210

喫茶 **ガーデニア**
神戸市生田区東町113-1 大神ビル1F
TEL 321-5114

珈琲 **モーツアルト**
神戸市生田区山本通2丁目98グランドマンション1F
TEL 241-3961

ティー&スナック **サポテン**
神戸市生田区中山手通2丁目
(神戸女子短大前) TEL 241-7060

★club **千**
神戸市生田区下山手通2丁目421
TEL 391-1077

c l u b **飛鳥**
神戸市生田区中山手1丁目117
TEL 331-7627

c l u b **小万**
神戸市生田区東門筋中島ビル3F
TEL 391-0638・4386

c l u b **さち**
神戸市生田区中山手通2丁目75
TEL 331-7120

c l u b **なぎさ**
神戸市生田区北長狭通2の1 TEL 331-8626

c l u b **蔭〈ふき〉**
神戸市生田区下山手通2丁目 TEL 391-1515

c l u b **バーげん**
三宮生田新道浜側中央KCBビル5F
TEL 331-8593

c l u b **Moon Light**
BAR TEL 331-0886・391-2696
Club TEL 331-0157

クラブ **るふらん**
神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 331-2854

★STAND & SNACK **ベルビュ・ドール**
神戸市生田区中山手通2丁目101 大洋ビル2F
TEL 321-5677

スタンド **英国屋**
生田区下山手通2-6 相互タクシー横
TEL 331-1100・331-6600

洋酒ハウス **雑貨屋**
生田区下山手通2丁目8の6
(生田新道相互タクシー横上る) TEL 321-0260

スタンド **グラムール**
生田筋岸ビル地階 TEL 331-4637

SNACK **MATSUMOTO**
神戸市生田区中山手通1丁目32-3
曾根ビル1F TEL 241-5470

カクテルラウンジ **サヴォイ**
高梁山側 テキの店北
TEL 331-2615

DRINKING IS AN ART OF LIFE **ウッドハウス**
神戸市生田区下山手通1丁目132
PHONE 078-241-7320

スナック **ビジービー**
神戸市生田区中山手2丁目
TEL 391-4582

居酒屋 **ポルドー**
生田新道浜側中央KCBビルB1F
TEL 331-3575

Wine and something **珍地理屋**
神戸市生田区中山手通1丁目24-7
大和ナイトプラザ1F TEL 242-0288
サロ **神戸時代**
生田区中山手通1丁目28
シャトウコトブキビル TEL 242-3567

スタンド **くる実**
生田区中山手通1の72
TEL 331-6985

洋酒の店 **キャンティ**
神戸市生田区北長狭通2丁目3
TEL 391-3060・391-3010

スーパ&パン店 **キャンティ北店**
神戸市生田区下山手通3丁目8-9 TEL 331-3661

DRINK SNACK **スネカジリッ子**
神戸市生田区下山手通2丁目
永美ビルB1 TEL 391-8708

Stand&Snack **サントノーレ**
ティー&ドリンク **生田区下山手通2丁目トア・ロード**
TEL 391-3822

Salon de roulette **サントノーレ**
パンドラ **神戸市生田区中山手通1丁目24-7**
ルーレット教室 **ダイワナイトプラザ6F TEL 241-1710・221-3886**

素舌洞 **でっさん**
神戸市生田区北長狭通1丁目258
TEL 331-6778

STAND **マシュケナダ**
生田区下山手通2丁目ちやいなタウン地下
TEL 331-5587

スナック **GASTRO**
神戸市生田区中山手通3-20
トアマンション TEL 231-0723

ティー&パブハウス **バスチャーリントン**
生田区北長狭通2丁目(トアロード)
TEL 332-1125

スナック **比°奈古多**
とうふ料理 **神戸市生田区北野町1丁目143**
Tel. 241-1306

サロ **ソナルバトロス**
生田区中山手通り1丁目24の7
大和ナイトプラザ2F-B TEL (231) 3300

スナック **エルソタノ**
神戸市生田区下山手通 TEL 331-6620

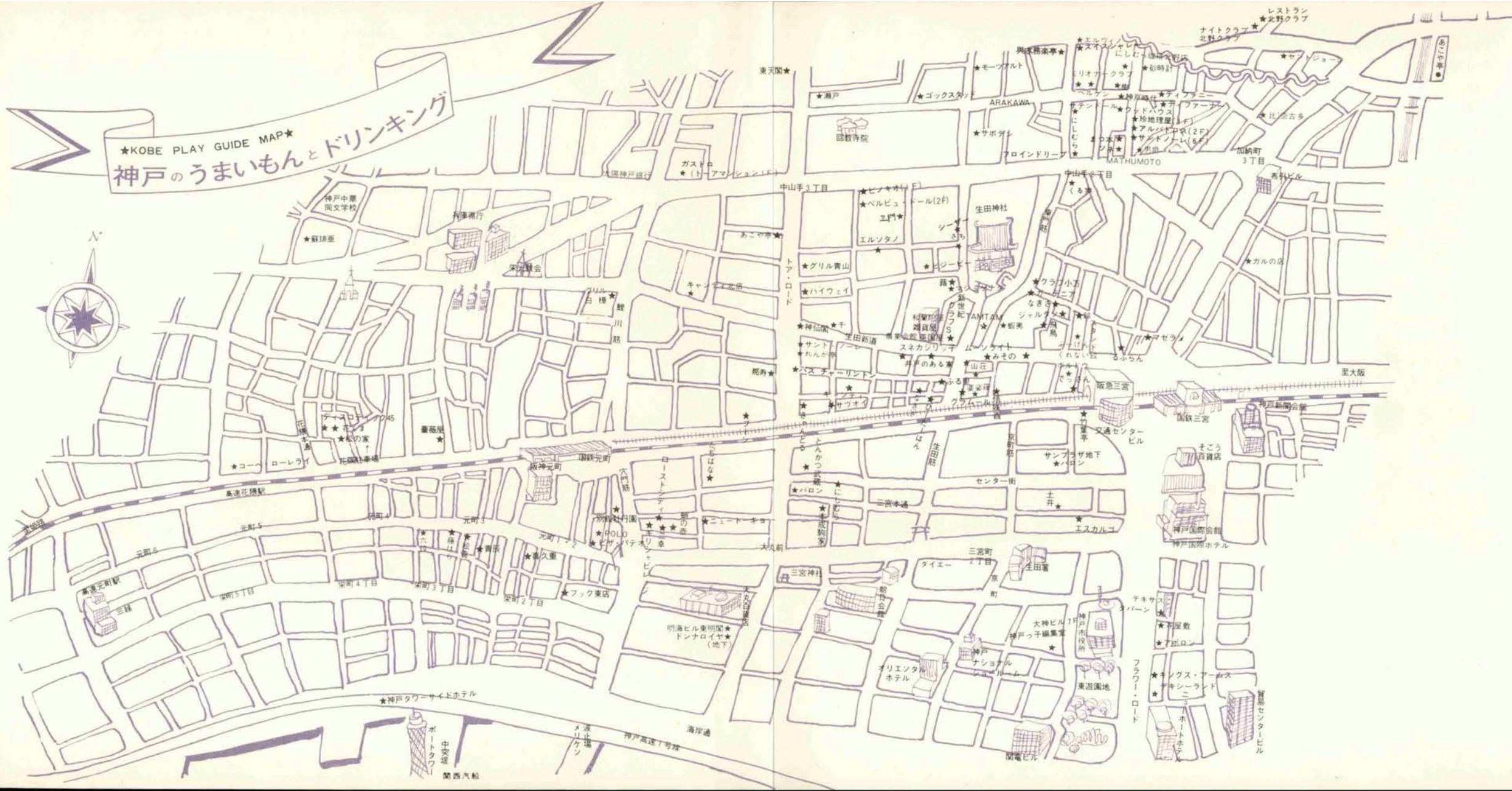
スナック **山荘**
神戸市生田区北長狭通1丁目22
TEL 391-5823

スタンド **紋**
神戸市生田区北長狭通1丁目41-1 レンガ筋
TEL 331-8858

スナック **興志務楽亭**
神戸市生田区山本通2丁目60パールライフB1
TEL 242-1977

★KOBE PLAY GUIDE MAP★

神戸のうまいもん＆ドリンキング





baLon antique series

XXIX 皮

白井 亜紀
〈インフォメーション
ディレクター〉

「少年の頃から、古い物に興味を持ち、現在のようなアンティークを集め始めてから10年以上になる。部屋中、骨董品だらけでコップやフライパン、ストーヴに至るまで古物ばかり。

皮製品には、特に魅力を感じている。皮靴やブーツは、昭和10年代に作られたもので、今も神戸の街をこの靴で歩く。熊の毛皮には、懐しいエピソードがあるのだが……。

この店のインテリアには、なめらかな皮がよく似合う。静かにコーヒーを楽しみたいものだ。」

トア・ロード バロンにて
カメラ／藤原保之



バロン

★英国風喫茶・レストラン 三宮さんプラザ店
TEL 391-1758 AM11:00~PM 9:00迄

★コーヒーショップ トア・ロード店
TEL 391-1210 AM10:00~PM 9:00迄

★コーヒーショップ センター街店
TEL 391-1375 AM10:00~PM 9:00迄

元町フルーツホール

イクシマヤ

(331) 241-5



サントス

331
1079



とんかつ一番

夏を迎えて気軽にスタミナがつくとんかつ料理。ビール(大 300円) 片手に元気にゆこう。
とんかつ 1000円 エビ 1000円 ロール 1200円
ふきよせ 1400円

〇〇円AM11時 PM8時迄 (331) 0755



大

- 千砂屋 ●
河島商店 ●
たちばな ●
高橋紙本店 ★
時雨茶屋 ●
林小竹堂 ★
オカダ商店 ●
シンガー ★
マサヤ ●
コトブキ ★
元町モト ●
コウサコム ★
- すずらん燈の道
- ミヤコ ●
トウヤ ●
美田商店 ●
本高杉屋 ●
奈良山 ★
神戸風流 ●
切味の庵 ●
アカデミ ★
サンダク ●
スツック ●
三軒野 ●
海文堂 ●
ニシマン ●

- 駅**
- | | | | | | | | |
|--------------|---------------|--------------------|---------------|----------------------|----------------------|-------------------------|------------------------------|
| 鶴岡ビル
ちよびや | 酒造昌洋店
コトキ★ | 梅龍樓
シメサ★
タマ★ | オノ洋装店
神ノ屋★ | 日本楽器
三ツ星★
とさき★ | 北村眞良店
美術★
七宝堂★ | ロッキーマン
ポスター★
アパロ★ | ヒラタカメ
五月井★
花屋屋★
正屋★ |
|--------------|---------------|--------------------|---------------|----------------------|----------------------|-------------------------|------------------------------|
- 詩のあるれんが道**
- | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|----------|----------|-----------|-----------|------------|-----------|---------------|-----------|------------|-----------|---------------|-------------|-----------|-----------|
| ★神田西園
サ | ★自丹
ノ | ★タム
ノ | ★キニシ
ノ | ★エシマ
ノ | ★三國東屋
ノ | ★とさき
ノ | ★元平・元町東屋
ノ | ★アマト
ノ | ★わたりん
ノ | ★モリス
ノ | ★ササチ二文商店
ノ | ★ササチ二輪
ノ | ★ササチ
ノ | ★三ツ星
ノ |
|------------|----------|----------|-----------|-----------|------------|-----------|---------------|-----------|------------|-----------|---------------|-------------|-----------|-----------|

- [illegible]

鯉川筋



大丸
神戸店

「時のあるれんが道(元町1番街)はファッションの6月」

栄町通へ

メリケン波止場

★紳士服 柴田音吉洋服店
〈元町4丁目〉

〈元町4丁目〉



33960

★ 婦人服飾 マスヤ
〈元町3丁目〉

〈元町3丁目〉



3955

★ 家具
〈元町4丁目〉

〈元町4丁目〉



6月の14日・15日、決算期を迎えて、お客さまへの感謝をこめて全階主商品のクリアランスセール
家具のお好きな方には楽しみなお買いどきのチャンスです。
☎(31) 1212

37
1
2
1
2

★ブティック **サンアカデミー**
 〈元町3丁目〉

〈元町3丁目〉



0511

高速花くま

門書店 ●
清村齒科 ★
フジ井 ●
しんせいどう ★
まるもん ●
カドヤ ★

モトマチ
オーデオセンター★
昌美堂●
山泉★
ブローニュー●
寿宝四宮★
良本呉服店●
ブラザーミシン販売★

コストバザール★
珈琲園●
喫茶アローザ★
岩本宝飾店●
珍花園★
富田屋●

パンツショップ
柴田服洋店★
川村洋服店●
ナガ文具★
浪花屋漆器店●
喫茶サガン★
ウエダ●

花隈駐車場へ

玉田ピアノ★
 フジ洋装●
 マルサク商店★
 カメヤ●
 三木楽器★
 芳香堂●
 河野カバン店★
 シャン●
 リリー★
 アダム●
 フナキヤ★

- インセー洋装店
- ★ ミモザカメラ
- 関口洋服店
- ★ 日本火災海上保険

- モードエール
- ★ インテルナキタビル
- ふじや靴店
- ★ 赤坂商店
- 千枝堂
- ★ 戒時計店
- 三恵洋服店
- ★ 共立楽器

- 神戸事務所販売
- ★はしもと呉服店
- 光明堂
- ★コストバザール
- みの章

★柴田 蕨吉洋服店

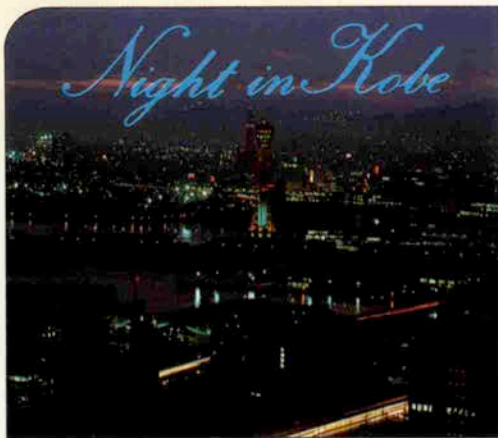
- ★竹本貿易
- 三栄堂食料品店
- ★カメラ界社
- イトオ洋草店
- ★千代商会
- ウィーン
- ★栄光時計

- ★ヤタナ力オ
- やたなかお
- ★エボツク
- 恵ようぶや
- ★こばると書房
- 元町ファマシー

- ★元町オットー
- 日の出楽器
- ★神戸眼鏡院
- ニツケシヨールー
- ★ミヤケカメラ
- マルエス
- ★カトレア
- ナオイ
- ★フジ燐煙具
- 精推堂
- ★生発洋服店
- 長崎本舗

中突提
ポートタワーへ

Night in Kobe



英国の香り

BASS CHARRINGTON

トアロード高架上ル東側 ☎ 332・1125

日本で初めて樽入りスコッチ（モルト）が飲める店、それがバブ《バスチャーリントン》です。英国の伝統を受け継いだ落ち着いたインテリアと国内最高のスモークドサーモンをはじめすべてにパブリックなお値段がいま神戸っ子に大好評です。10:00AM-0:00AM



酒
館
から
し
や

三宮・農業会館前
391-8894

神戸ビルF



「絵と書を楽しむマスターの正美君は現代のスマートな好青年、お店もその人柄をあらわすように優雅な格調ある落ち着いた雰囲気、店名の書とともに私の自慢の一つ。日本中いや世界中の私の知人が神戸を訪れると必ず立寄る店です」(望月美佐)



よさの

クラブ

三宮・生田神社前ゼウスビル 6F
391-5838
388706

港 コウベならではの豪華なクラブ〈よさの〉。ロマンと優雅さと、そして、ピアノトリオとエレクトーンのステキな演奏が夜をひとときを華麗に彩ります。

姉妹店/クラブ〈なぎさ〉 ☎ 331-8626、321-1210
GRILL & BAR 〈なぎさ〉 ☎ 331-3670

初夏のひとときを新装なったスナックちくせんでお過ごし下さい

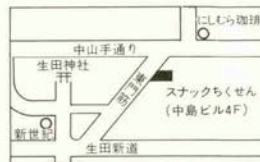


スナック ちくせん

神戸市生田区下山手通1丁目85(東門筋) 中島ビル4F

☎331-3131

近藤正実・岩本文夫





スナック &
ドリンク

姫

生田区中山手通1丁目18

☎ 221-1950



DRINKING IS AN ART OF LIFE 生田区中山手通1丁目32

WOODHOUSE

山内ビル

☎ 241-7320

KOBE DRINKING GUIDE

山崎
ステーキハウス

生田区中山手通1丁目

前川ビル1F

☎ 391-3335



Snack Joyful

生田区中山手通1丁目74

三角ビル地下1階

☎ 332-1866



★いよいよ本格的な夏の到来です。仕事が終わってもまだ空には青味が残り、何となく手持ちぶさたな気分、時間がポカリと空いたような気のある季節となりました。そんなとき、スナック“姫”へいらっしやいませんか。ちょっとした店ですが、上品なムードと、ママをはじめ美人が揃っているのが何よりの魅力です。今年は神戸まつりにも初参加、サンサンと降りそそぐ夏の太陽の下、大いに頑張りました。多勢の人と知り合えるまつりの場のように、ここスナック“姫”は色々な人が親しめるような、そんなお店にしたいと頑張っているのです。

☆ボトル（オールド）¥6,500 ボトル（ホワイトホース、カティーサーク）¥8,000 水割（オールド）¥500 ビール¥400

6:00P.M.～0:00A.M. 日曜祭日休み



ヒメ

KOBE DRINKING GUIDE



ヤマサキ

★このほどステーキハウス“山崎”でパーティーを開いた神戸労災病院の一行。そのなかの内科医豊川先生に推せん言葉をいただきました。

「財布は軽い、豪華な雰囲気、スタミナのある夕食をと思っておられる方、是非一度 stake-house Yamasaki のドアを knock してみてください。二人だけの夕食に、グループでのパーティーに、また、家族揃っての夕食にと予算に合わせて色々なコースを工夫してくれます。何よりのご馳走はゆきとどいたサービスではないでしょうか」

☆最上級神戸肉ステーキ¥5,000 サーロインステーキ¥3,000 テンダーロインステーキ¥3,000 車海老のバター焼き、アワビのバター焼き、ビール¥300 ボトル（オールド）¥5,000 ボトル（ホワイトホース）、ボトル（カティーサーク）各¥7,000

5:00P.M.～2:00A.M. 日曜日休み

★初夏の風さわやかな6月の空。楽しかった神戸まつりも終わり、これから本格的な夏のシーズン。待ってましたと！ところで、あなただけに耳よりな話を……。意外に知られていない“ウッドハウス”昼のサービスランチ。11時半から1時まで、それはそれはボリュームたっぷり。その日によって変わる一品ものに野菜サラダとポテトサラダとスープ、それにライスまでついて値段がたったの300円。数に制限ありますのでお早目に。

おめがめのコーヒーは“ウッドハウス”で……。朝8時よりやっております。

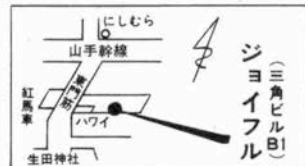
☆営業時間が変わりました。平日/午前8時→午前4時30分、日曜/午後6時→午前12時、年中無休

コーヒー¥150 紅茶¥150 ビラフ¥250 サービスランチ¥300 ビール(小)¥300 水割り(オールド)¥400 フィズ¥500 おつまみ¥100

ウッドハウス



ジョイフル



“Have a JOYFUL time”

愉快な時を過ごしませんか？ 可愛いお店で可愛いママがお待ちしております。このお店はすべて小さくまとめであります。なぜかわかりでしょうか？ このママ札子さん自身にお会いになった時、きつと納得できることでしょう。この店のモットーをお聞きましたところ、“可愛いらしさ、そして、貞淑さ”いや驚き！現代女性に一番欠けているものとは、この二つと思いませんか。また落着いたインテリアは、きつと誰もが心やすまることでしょう。ヤングカップル、女性同士、恋にやつれたブレイボーイ、ブレイガール、おでの広いおじさん、そして、ヤングからミドルエイジまで皆さん気がるに來てはジョイフルを可愛いがっております。そして御客同士、愉快に話し合っではいつしか友達になっております。何か欠けているこのごろジョイフルをたすねてみましょう。可愛い店です。見落さないように！“ハバアジョイフルタイム” ☆ボトルキープ/リザーブ、カティーサーク、ホワイトホース、各¥8,000 水割(リザーブ)¥700 ビール¥400 6:00P.M.～1:00A.M. 日曜休み